

ヒナさん(24期)のアメリカ留学レポート②

第1号に続き第2号も24期のヒナさん(ミシガン州派遣)の留学レポートをお楽しみください。

今回は早期帰国になり留学先でやり残したことと、留学を目指している人へのアドバイスを書きたいと思います。

あと3ヶ月留学生活ができたなら・・・

やり残したことはいくつかの行事を経験できなかったことです。もうドレス選びを始めていたプロム(ダンスパーティー)やガウンコートを購入済みだった卒業式。留学生活前半の行事はまだ学校になじめていなかったこともあり、存分に楽しめなかった分、後半の行事をとっても楽しみにしていたので悔しいです。また、ホストファミリーとのシアトル、ニューヨーク、シカゴ、ナイアガラの滝、フロリダのディズニー旅行はすべて4月、5月内に計画していたので行くことができませんでした。そして何より、ちょうど帰国した時期頃に英語力に伸び悩んでおり、残りの3ヶ月でどういう風に英語に磨きをかけるのかをリストアップしていました。例えば、留学前に自分が思い描いていたようなレベルに到達していないのは、授業内で黙り込んでいることが大きな原因だと考え、もっと発言をして、1日に話す量を増やそうと考えていましたが、実行することができませんでした。アメリカ史の授業では、ちょうど第二次世界大戦の範囲に入っており、沖縄戦についてのプレゼンテーションをする予定でした。図書館の先生と千羽鶴プロジェクトの最中で、目標個数を作り上げることができませんでした。5月には、あるイベントに招待されており、三線を引く予定でしたがそれも叶いませんでした。このように悔しい思いをたくさんしましたが、距離は離れていてもまだつながりは持っているので、せめてSNSで沖縄を発信することはこれからも続けていく予定です。

これから留学を目指す人へのアドバイス

① 帰国後の勉強が心配でも・・・

1年近く日本から離れるので、帰ってきてからの日本の学校での学業が心配だと思いますが、日本の参考書などはできる限り持って行かない方がいいです。私も過去の先輩から持って行っても現地の課題が忙しいので日本の勉強に時間を割くことは難しいと言われていましたが、アメリカでも両立して頑張る！と強い意志をもってキャリアケース1つ分、日本の教材を持って行きました。結果、帰りの荷物が重すぎて後悔しました。ほとんどの人の場合、留学先から沖縄までの移動は乗り換えも含め1人なので、自分だけで管理できる荷物の量におさえることも大事です。留学先から郵送するにしても、送料は万単位で高額なので気をつけてください。センターの過去問はネットで見ることができます。日本の教材は持って行かずに留学先でしか得られない学びを吸収するのが一番いいです。

② しかし英語の教材は・・・

とはいえ、持って行っても損がないのは暇な時間があつたときのための問題集1冊と英単語帳です。私は、英語は留学中に自然に伸びるだろうと思い、英語の教材を何も持って行きませんでした。それは大きな間違いでした。ある程度の会話ができるようになったら、次に必要とするのは単語力です。「自然にできるようになる」はもう通用しません。あとは自分で英単語を覚える努力が必要です。留学先で良い成績を取ることが第一で頑張ってください。

③ 留学先での友達作りについて

留学先での友達作りは、とにかく最初の一週間にかかっていると思います。どんどん声をかけて、自分をアピー

留学体験記

From 向陽高等学校 SSH 通信 QUEST FOR TRUTH

ルしました。また、めげないことも大切です。友達がいなくてランチを1人で食べたこともありましたが、次の日に誰かに声をかけて常に前を向くことを心がけました。留学を通して自分の考え方が一番変わったのが、現地に住んでいる日本人との関わり方です。私が派遣された地域はデトロイトという自動車工業が盛んな都市が近かったのでトヨタ、ホンダなど日本車メーカーが多くあり、親の転勤が理由で私のホストスクールにも日本人がたくさんいました。留学前は、アメリカで日本人を見かけても関わりはなるべく避けようと思っていました。自分自身を甘やかさず、極力英語だけの環境に身を置きたかったからです。しかし、私1人の力だけでは伝えられない日本があり、三人寄れば文殊の知恵というように、大人数で協力したほうが、効果的に日本紹介ができる場合もあるということに気がつきました。そこで、私の学校にいた日本人7人ほどに協力を仰ぎ、スライドによるプレゼンテーションの他に、折り紙や書道などの体験、三線や琴などのパフォーマンス、蕎麦の試食ブースなども設置し、大規模な日本紹介を学校で行うことができました。また、現地在住の日本人が情報を提供してくれたおかげで、アメリカで行われた日本文化に関するイベントのボランティアに参加することもできました。時には、「自分のため」だけでなく、「日本のため」にどう行動すべきなのかを考えることも大切だと感じました。



ヒナさんの留学体験記はいかがでしたか？これから留学を目指す人もそうでない人も留学生生活を少し垣間見ることができ、学ぶことが多かったのではないのでしょうか。他国に身をおくことで様々な視点で物事を見ることができるようになり、語学だけではなく精神的にも大きく成長することができます。今年度は沖縄県の短期留学のプログラムは中止になってしまいましたが、コロナウィルスが落ち着いてくれば、チャンスはたくさん待っています。ぜひ、チャレンジしてみてくださいね！